

Ⅲ 初期成長の優れたコンテナ苗生産技術及び植栽実証試験

(実施期間：平成 27 年度～ 31 年度 予算区分：単県 担当：富森加耶子)

1 目的

コンテナ苗は培地つきのため、従来の裸苗と比較して活着や成長が良好と言われ、低コスト再造林に期待されている。本研究では、コンテナ苗の生産技術を確立し、裸苗と比べた植栽後の初期成長を評価する。

2 実施概要

(1) 方法

①コンテナ苗と裸苗の成長比較：県内で生産されたスギのコンテナ苗 3 種と裸苗を平成 28 年 12 月に大山町赤松地内へ植栽し、2 成長期経過後の平成 30 年に成長（樹高、地際直径）を調査した。

②直挿しコンテナ苗の実用性：平成 28 年に母樹から採取した穂木を直接コンテナ容器へさし木し（以下、直挿し）、大山町羽田井地内へ平成 28 年 12 月に植栽した当年生苗と 1 年間育苗した後に同地へ平成 29 年 12 月に植栽した 2 年生苗の活着及び成長を調査した。

(2) 結果

①植栽から 2 成長期経過後、裸苗、マルチキャビティ 300cc、インナーポット 300cc の成長差はなくなった。インナーポット 150cc は裸苗や他のコンテナ苗よりも樹高、地際直径ともに成長が劣っていた（図 1）。

②活着率は直挿し 2 年生苗の方が当年生苗よりも高かった。直挿し当年に植栽しても、1 成長期後には 2 年生苗の植栽時サイズより樹高が大きく、地際直径は差がなかった（表 1）。

3 結果の図表と研究の様子

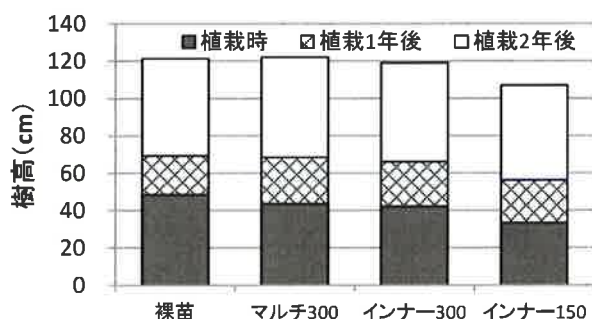


図 1 裸苗及び各種コンテナ苗の樹高成長

写真 1 植栽 1 年後の直挿し当年生コンテナ苗

表 1 直挿し当年生苗と 2 年生苗の活着及び成長

	植栽年	供試数 (本)	活着率 (%)	樹高(cm)		地際直径(mm)	
				植栽時	1 成長期後	植栽時	1 成長期後
当年生苗	H28.12	462	48.3	22.8	39.7	4.6	6.1
2 年生苗	H29.12	298	89.9	36.1	54.0	6.1	7.4